

会議録

会議の名称	平成27年度第1回西東京市消防委員会
開催日時	平成27年5月28日（木曜日）午後4時から5時15分まで
開催場所	防災センター 5階 災害対策本部室
出席者	委員：蓮見委員長、櫻井職務代理委員、長沢委員、村田委員、野口委員、河村委員、本橋委員 事務局：坂本危機管理室長、田喜知危機管理特命主幹、藤澤副主幹、安達主査
議題	1 平成27年度消防団活動費予算概要等について 2 平成27年度西東京市消防団訓練等実施計画について 3 その他
会議資料の名称	資料1 平成27年度消防団活動費予算概要等 資料2 平成27年度西東京市消防団訓練等実施計画
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>○事務局： はじめに、4月1日付の人事異動に関連し、委員の紹介いたします。 西東京消防署 小野署長と危機管理室 小谷野室長が異動となりまして、西東京消防署は長沢署長が、危機管理室には坂本室長が新たに着任されました。長沢消防署長は、あらたに委員となりますので、ご報告いたします。</p> <p>それでは、委員長あいさつをお願いします。</p> <p>委員長： 本日は、お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日も慎重審議のほどよろしく願いいたします。 ただ今から平成27年度第1回西東京市消防委員会会議を開催いたします。 傍聴者は現在のところおられません。 本日の配布資料について、事務局から確認をお願いします。</p> <p>○事務局： (配布資料の確認)</p> <p>議題1 平成27年度消防団活動費予算概要等について 委員長： それでは、議題の1つ目ですが、「平成27年度消防団活動費予算概要等について」に入らせていただきます。事務局から説明をお願い致します。</p> <p>○事務局： (資料1に沿って説明)</p>	

委員長：
皆様からご質問、又は予算執行に当たりご意見等ございましたらお願い致します。

○委員：
防火靴などの安全装備品の購入には、以前は補助制度のようなものがあったと思うが、今年度の補助事業はどのような状況ですか。

○事務局：
補助事業については消防団員等公務災害補償等共済基金の制度が、今年度もありますが、現在申請中でどのくらいの金額を助成してもらえるかは未定です。

○委員：
ポンプ車の買い替え2台は、何分団か。

○事務局：
7分団と12分団のポンプ車が対象となります。

○委員：
活動費予算とは別だが、9分団詰所の新築が計画されていると思うが、予算は計上されているのか。

○事務局：
消防団活動費ではなく消防施設維持管理費に建築費など約5,100万円、外構工事約600万円、工事監理費約180万円、合計約6000万円予算を計上しています。

○委員：
工事費約5,100万円はかなり高額ではないか。平成24年あたりに新築した詰所は3,500万円くらいではなかったか。

○事務局：
9分団詰所は東町ポンプ場の敷地内に新たに建てる計画で、土地利用の関係などから間口の狭い細長い建物として建設します。市内の他の詰所と比べるとかなり細長く、器具庫等のスペースを確保するために、建築面積としては少し大きいものとなっているため、工事費が前回の時より高額になっていると思います。
また、建築資材や人件費の高騰などもあり、5,100万円ほどの予算となっております。

○委員：
ポンプ車を買替えた場合、現在のポンプ車の活用がなかなか難しいと思うが、今回はどのようにしているのか。

○事務局：
今回は、日本消防協会から海外への支援事業として寄付してもらいたいとの要望があり、2台とも寄付する予定です。

○委員：
日本消防協会は毎年海外への寄付事業をおこなっているのか。過去に市内の事業所に

寄付して活用してもらっているということがあると思うが、現在は事業所などへの寄付は行っていないのか。

○事務局：

今回は、前年度から日本消防協会からポンプ車買替の有無について調査があり、その調査結果から早くから寄付の申し出があったため、市内事業所への寄付に関しては検討しておりません。

○委員：

以前は姉妹都市に寄付したことなどもあるようなので、海外への支援も良いと思うが、市内事業所への支援についても積極的に行って行ってもらいたい。

○事務局：

今後は市内事業所の支援も行いたいと思います。

○委員

予算のデジタル受令機とは、どのような内容か。

○事務局：

デジタル受令機については、東京消防庁の受令波がデジタル化するために、現在の受令機が使用できなくなり、分団詰所、ポンプ車等の受令機を取り換えるための予算となっています。

○委員長：

消防団員報酬については、昨年と同様の予算を確保できているということですが、特に本部役員の額については、報酬アップの方がよいのではないのでしょうか。

活動内容も多岐にわたり、責任も重大になってきているので、今後検討課題としてもらえればと思います。

○委員長：

他に質問はありますか。無いようでしたら、次に議題の2に移りたいと思います。

議題2 平成27度西東京市消防団訓練等実施計画について

それでは、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局：

(資料2に沿って説明)

○委員長：

何か質問はありますか。説明にもありましたが、消防委員会は総合防災訓練、消防操法大会、歳末警戒、出初式に出席を求められていますので、委員の皆さんよろしく願いいたします。

○委員：

平成27年度の訓練等実施計画の説明がございました。平成28年度北多摩地区消防団連

絡協議会主催の「北消大会」は、西東京市が担当市として実施する予定です。

また、東京都消防操法大会の出場も決まっておりますので、先の話ではありますが、委員の皆様にご協力いただくことがあると思いますので、よろしく願いいたします。

○委員：

平成28年度は大きな行事があるようですので、今年度の予算編成の際は、消防団の活動が円滑に行われるよう、予算確保に十分努めていただきたい。

委員長：

予算確保のご意見が委員からありましたが、消防委員会として十分な予算確保を要望したいと思いますが、委員の皆様いかがでしょうか。

○各委員：

異議なし。

○委員：

操法大会の練習場所はどのような場所を考えているのでしょうか。学校のグラウンドが使用できないのか。場所確保だけで消防団は苦慮している。市の方でどのように考えているのでしょうか。

○事務局：

庁舎の敷地、農協の敷地、事業所の敷地を現在は借用して練習しております。

○委員：

事業所等の敷地を借りているのが現状なので、今すぐでなくてもいいので、市で練習場所を確保するような努力をしていただきたい。

○事務局：

今後の課題とさせていただきます。

委員長：

他にご意見がないようでしたら、その他ということで事務局よりお願いいたします。

○事務局：

(災害時支援協力員について概要説明)

平成22年に設置要綱を施行し、市内で震度5弱の地震が発生した際、身の回りの安全を確保した後、所属の詰所に参集していただくこととなっております。

また、協力員にはヘルメット・ベスト・長靴を貸与しており、参集時には着用していただくこととなっております。

現在、60数名が協力員として登録して頂いており、制度開始から数年がたっておりますが、登録数が増えておりません。また、登録していただいている協力員にも登録後活動内容の周知等が不十分なところがございますので、今後、制度充実を図ってまいります。

委員長：

委員の皆様も制度はご存じだと思いますが、いざという時に活動できるようにして

いかなければいけないと思います。

平成22年以降退団された団員の方もいるので、積極的に協力をしていただくようにしてもらいたいと思います。

他に意見のある方はいらっしゃいますか。

○委員：

貸与品や行動要領を理解してもらうためにも、一度参集訓練のようなものを実施した方がいいと思います。消防団の訓練の時に一緒に実施することでもいいのではないのでしょうか。

委員長：

平成22年以降に退団した方に、協力依頼の通知を送付し登録者数を増やすことや登録している協力員の方には、確認の意味でも行動要領と登録の継続の意思確認などをすることは必要なのではないかと思うが、いかがでしょうか。

○各委員：

異議なし

事務局：

ご意見につきましては、今後の課題とさせていただき登録者の拡充を図るようにしていきたいと思います。

委員長：

他に意見がなければ、次に移りたいと思います。

○事務局：

平成26年の災害状況について長沢委員（消防署長）からご報告をお願いします。

（資料に沿って説明）

（平成26年災害状況報告 長沢委員（消防署長）説明）

委員長：

災害状況についてご報告いただきましたが、議題その他で他に事務局ございますか。

○事務局：

最後に9分団詰所新築工事についてご報告いたします。

（資料に沿って説明）

（9分団詰所新築工事について説明）

委員長：

全体をとおして他に何かありますでしょうか。なければ消防団の年間行事も多くなっていますので、消防団員の皆さんには気を付けて活動していただきたいと思います。

では、本日の会議は以上となります。ご苦労様でした。

以上